

ろうさい通信 【Vol. 7】



入梅の候、地域の先生方にはますますご清栄のことと存じます。日頃より患者様のご紹介・逆紹介において大変お世話になっており、厚く御礼申し上げます。

今月は泌尿器科の紹介をさせていただきます。

診療科紹介「泌尿器科」

当院泌尿器科では

- 尿が出にくい・回数が多い
 - 腎臓にがんが見つかったがどうしたらよいのか
 - 家族が腎移植を希望しているのだがどうしたらよいのか
- など、幅広い泌尿器科の疾患に対応しています。



前立腺がんの治療と診断について当科の取り組み

1. 診断

(1) PSA

ご存じのPSAはなんといっても
前立腺がん早期発見の切り札です

(2) MRI

令和5年に導入した3テスラのMRIで
非常に鮮明な高解像画像が得られる
ようになりました。

PSAが高値の場合、一度はMRI検査
をお勧めします。

(3) 前立腺生検

1泊入院は必要ですが、麻酔科医の協力
で痛くない生検を行っています。
合併症の少ない経会陰的生検
を昨年から導入しました。

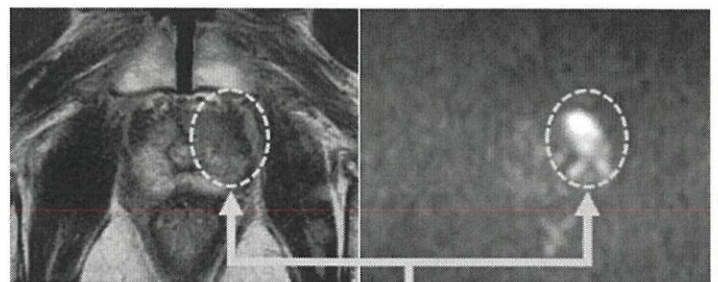
MRIで異常信号を指摘された場合には
生検をご検討ください。

生検でsignificant cancerが発見
されれば治療について相談します。

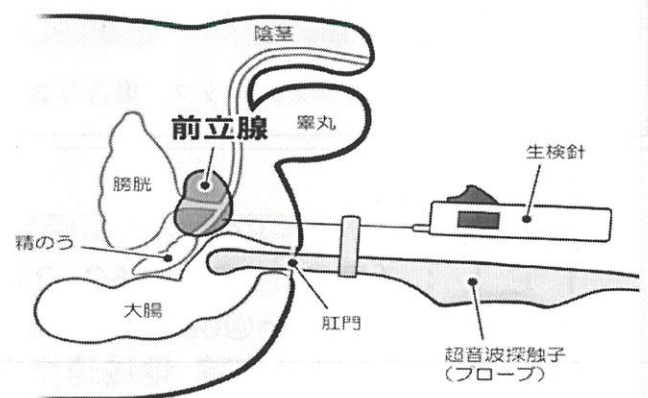
MRI画像

T2強調画像

拡散強調画像



がんを疑う所見



超音波ガイド下経会陰式針生検

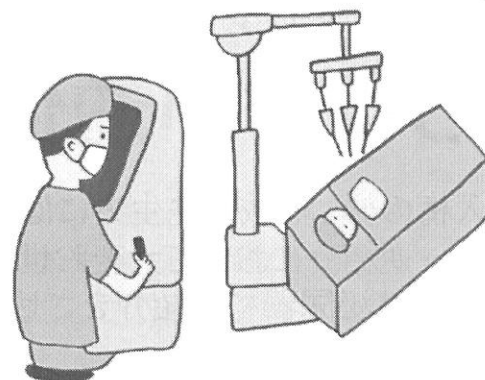
2. 治療

(1) 手術

今年度5月から根治的前立腺全摘除術として

「ロボット支援手術」

を開始しました。



(2) 放射線治療

手術と遜色ない成績です。

併存症で手術が難しい方、手術が嫌な方は放射線治療で根治を目指します。

(3) 内分泌療法

高齢者、併存症の多い方、転移のある前立腺癌では内分泌療法(ホルモン療法)で前立腺癌との共存を目指します。

(4) 化学療法

近年、新規薬剤が次々に使用できるようになりました。

汝、諦めることなかれ。



泌尿器科外来スタッフ 集合写真

泌尿器科の取り組みについて
特に泌尿器科の癌の手術、
薬物療法の経験は豊富であり、
患者さんと一緒に
生活の質を重視した治療を第一
に考えながら行っています。

手術、放射線、薬物療法、
それぞれの症例で最適の治療を
提供いたします。

ご紹介、よろしくお願いします。



【お問い合わせ先】

住 所：〒702-8055 岡山市南区築港緑町1丁目10番25号

T E L：(代表) 086-262-0131 FAX：086-263-2587

E-mail：kansapo@okayamah.johas.go.jp

担 当：岡山労災病院 地域連携室

